

区 分	<input type="checkbox"/> 計画書 <input type="checkbox"/> 変更計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 実施状況報告書								
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	大阪府大阪市中央区道修町三丁目6-1京阪神御堂筋ビル 11階								
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	大阪製鐵株式会社 代表取締役社長 谷 潤一								
事業概要	製造業								
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/>	熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)	前年度の原油換算エネルギー使用量	41068	kl				
	<input type="checkbox"/>	熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)	県内登録の自動車数					台	
	<input type="checkbox"/>	特定事業者以外の事業者							
計画期間	2023 年度 ~ 2025 年度								
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針	当社ではH15年にISO14001を認証取得して以来、社内体制の整備に努め、環境マネジメントシステムの円滑な運営を継続しています。また、当社独自の活動として「GoZERO活動」を展開中であり、本活動はエネルギーの削減はもとより、あらゆる無駄の排除を目的とした活動で全工場各課が月間目標を定め、日々目標達成に向けた活動を行っています。								
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制	工場全体で環境に対する目標を掲げ地球温暖化対策の推進を図ります。								
	環境マネジメントシステム名称	ISO14001:2015 (2015年版に2017年に移行)	適用範囲	棒鋼、形鋼の生産事業活動	取得年月日	2003/11/20			
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容	【設備更新等】								
	【その他の措置】 ・工場の操業形態を平日夜間操業体制にしている。 ・九州電力の要請により、夏季(7~9月)昼間の省電力に協力 ・省エネルギーを目標とした設備投資の実施								
温室効果ガス算定排出量等	年度区分	排出の状況及び目標			排出量等の実績				
		基準年度 (2022)年度	前年度 (2022)年度	目標年度 (2025)年度	(2023)年度	(2024)年度	()年度	()年度	()年度
	①排出量	90,689	90,689	87,969	79,616	81,284			
	燃料及び熱	16,873	16,873	16,367	17,491	16,254			
	電気	73,817	73,817	71,602	62,125	65,030			
	削減率・増減率 (基準年度比)			△ 3.0 %	△ 12.2 %	△ 10.4 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %
	②補完的手段による削減量								
	森林整備等								
	再生可能エネルギー								
	グリーン電力証書等								
その他知事が認めるもの									
①-② 差引後排出量	90,689	90,689	87,969	79,616	81,284				
削減率・増減率 (基準年度比)			△ 3.0 %	△ 12.2 %	△ 10.4 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	
原単位算定排出量等	排出量	0.040	0.040	0.038	0.041	0.054			
	削減率・増減率 (基準年度比)			△ 3.0 %	4.3 %	36.4 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %
	差引後排出量	0.040	0.040	0.0384	0.041	0.054			
	削減率・増減率 (基準年度比)			△ 3.0 %	3.5 %	36.4 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %
原単位の考え方	CO2排出量÷粗鋼生産量(t)								

各年度の措置の実施状況及び計画の進捗又は達成の状況等	1年目 (2023)年度	【設備更新等】 ・特記なし 【その他の措置】 ・全社「Go ZERO活動」において、エネルギーの削減はもとより、あらゆる無駄の排除を目的とした活動において、月間目標を定め日々目標達成に向けた活動を継続して行っている。 【計画の進捗状況等】 西日本熊本工場は、製鋼工場及び、圧延工場により構成されているが、いずれも平日夜間操業体制を続けており、電力需要平準化対策を実施している。
	2年目 (2024)年度	【設備更新等】 ・特記なし 【その他の措置】 ・全社「Go ZERO活動」において、エネルギーの削減はもとより、あらゆる無駄の排除を目的とした活動において、月間目標を定め日々目標達成に向けた活動を継続して行っている。 【計画の進捗状況等】 西日本熊本工場は、製鋼工場及び、圧延工場により構成されているが、いずれも平日夜間操業体制を続けており、電力需要平準化対策を実施している。
	3年目 ()年度	【設備更新等】 【その他の措置】 【計画の進捗状況等】
	4年目 ()年度	【設備更新等】 【その他の措置】 【計画の進捗状況等】
	5年目 ()年度	【設備更新等】 【その他の措置】 【計画の進捗状況等】
特記事項		

- 備考 1 □のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。
- 2 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。
- 3 「基準年度」とは、原則、熊本県地球温暖化の防止に関する条例に基づく地球温暖化対策推進計画の基準年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。「前年度」とは、計画期間の前年度とします。また、「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。
- 4 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とし、その単位はt-CO₂とします。
- 5 事業活動温暖化対策計画書を提出する場合は、「排出量等の実績」欄及び「各年度の措置の実施状況及び計画の進捗又は達成の状況等」欄は記入不要です。
- 6 原単位による目標を設定する場合は、「原単位算定排出量等」欄に記入してください。
「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標（生産数量、延べ床面積等）や設定に係る考え方等を記入してください。
- 7 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。